

インドってどんな国？

ー現地の暮らしから見たインドのあれこれー

話題提供 **さいとう かずみ** さん (フリーライター)

日 時 **4 月 11 日 (土)** 午後 1 時 30 分～3 時 30 分 (予定)

会 場 **あがたの森文化会館 講堂・第一会議室** 参加費 200 円

※ 電話での事前申し込みが必要です (高校生以下は無料です)

インドが世界から注目を集めるようになって約 20 年。その間、人口ではついに中国を抜き、右肩上がりの経済成長は、モディ政権への交代を経て、内需重視の「メイク・イン・インド」政策を打ち立てながら安定を維持し、インドの国力を世界に見せつけています。また、優秀な人材が世界中の第一線で活躍、IT をはじめとするインドのインテリジェンスは、圧倒的な存在感を放っています。そんなインドの過渡期に、インドのあちこちの場所に暮らし、現地での出産、育児を経験し、ライターという仕事を通じて、さまざまな角度でインドを見てきました。

私がインドに渡ったのは 2007 年。当然ながらスマホはなく、インターネットは ADSL 回線 (電話回線を使った通信)、国際電話の代わりに Skype (スカイプ) という Microsoft が提供する通話サービスを利用していました。Skype 間での通話が無料であったり、定額料金で日本の固定電話への通話がかけ放題であったりすることはとても画期的でした。

そこから約 20 年。インドの風景はどのように変わったのでしょうか。私の夫は現在もインドに住んでいますが、彼の日常を通じて垣間見るインドの様子は、実は劇的には変わっていない気がします。はるか昔、数十の国 (現在の州) がそれぞれ異なる言葉を話し、宗教、慣習や土着の文化を大切にしながら過ごしてきた時代から、他国による支配、国の境界での紛争など、インド国として独立を成し遂げ現在に至るまでのダイナミックな歴史に思いを馳せると、劇的にも思えるこの 20 年の変化も、実はちっぽけな通過点にすぎないのかも知れません。

インドという国の悠久な時間の流れの中に、ほんの少し身を置いた外国人から見たインドを、写真を交えて紹介したいと思います。

さいとうかずみさんは本名、百瀬一美。松本で公務員として働きながら NPO 団体での国際関係分野の執筆・編集経験を経て、2007 年インドに渡りフリーランスのライターに。ヨガ、ナチュロパシーを学び、現地で妊娠、出産、育児を経験。ウェルネス、食、教育、経済、政治、環境、IT など様々な分野について、新聞、雑誌、web 等に多数寄稿。コロナ禍で日本に一時退避帰国、そのままインドには帰らず現在に至る。

☆テーマに沿って話題提供者の話のあと気楽に懇談。自由にご参加ください。

主催：サロンあがたの森実行委員会 共催：旧制高等学校記念館・記念館友の会

申し込み・問い合わせ 旧制高等学校記念館 ☎ 35-6226 FAX 33-9986